

# 川崎病と診断された方へ:入院診療計画書

平成 年 月 日 お名前(ご署名) 様 主治医( ) 受け持ち看護師( )

	診断確定日より	解熱後	退院後
点滴	診断確定後(1日目)、主治医より説明があります - グロブリン(血液製剤)は、同意を得られた後(同意書記入後)に投与します - グロブリンの副作用(嘔気、嘔吐等)の観察をします 持続点滴をします 細菌感染が否定できない場合は、抗生剤を投与することがあります	お子様の状態により点滴を終了します	
内服	「アスピリン」という内服薬を1日3回内服します 肝機能障害がある場合には、「フロベン」という内服薬を使用することがあります	解熱後より、「アスピリン」の内服を1日1回(朝のみ)に減量します 内服薬の変更時には、主治医より説明があります	主治医の指示があるまでは、必ず内服薬を続けて下さい 退院後の内服薬について、薬剤師から説明します
診察	主治医の診察があります 毎週月曜日・水曜日の午前中に部長回診があります 毎日、検温があります		
検査	血液検査・心エコー(心臓超音波検査)・心電図を定期的に検査します(週2回) 検査時は、検査がスムーズに行えるよう睡眠制限をします 心エコー・心電図はお子様がじっとしていないと検査が十分にできませんので、必要に応じて入眠剤を服用して頂きます また、検査のときよく眠れるように検査前日は遅寝をし、当日は早起きをして頂きます		退院後も、定期的に心エコー・血液検査 心電図を行うため検査について説明します
食事	年齢に合わせた食事ができます (アレルギーがある場合は、禁食に気をつけます) 口唇亀裂があり、食事がとりにくい場合は食事の形態を変えますので、お知らせ下さい		
活動	熱が高い時は、ベッド上安静が必要です 入院中は、(検査時など以外)病棟から出ることはできません	解熱後は、プレイルームで遊ぶことができます 病棟内自由です	
清潔	熱などで、汗をかいた後は着替えを手伝います 必要時、看護師が体を拭くお手伝いをします	解熱すれば、シャワー浴をすることができます 手指の皮膚剥離に対して、感染の予防に努めます	
説明指導	主治医より病状・入院期間・検査・治療・合併症について説明します 看護師から入院生活や病棟案内について説明します 内服開始時は、主治医および薬剤師より薬の説明があります	退院後の日常生活について、パンフレット使用して説明します	予防接種は、ーグロブリン投与6ヶ月後より可能です 日常生活には支障はありませんので、規則正しい生活を過ごしましょう しばらくの間は、人ごみを避けるようにしましょう 風邪をひかないように気をつけましょう

- 注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めて行くに従って変わりうるものである  
 注2 入院期間については現時点で予想されるものである  
 注3 入院時に持参してください

平成16年 8月改正

姫路赤十字病院 小児科